

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	15-010	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Correlates of dependence and treatment for substance use among people with comorbid severe mental and substance use disorders: findings from the "Psychiatric and Addictive Dual Disorder in Italy (PADDI)" Study.</p> <p>重度の精神疾患と物的使用障害を併発している患者における、物質使用への依存と治療の評価 - イタリア PADDI 研究 ("Psychiatric and Addictive Dual Disorder in Italy (PADDI)" Study) からの知見 -</p>		
執筆者		
Carrà G, Crocamo C, Borrelli P, Popa I, Ornaghi A, Montomoli C, Clerici M		
掲載誌		
Compr Psychiatry. 2015 Apr;58:152-9. doi: 10.1016/j.comppsy.		
キーワード		PMID
重度精神疾患、依存症、地域精神保健医療チーム		25591906
要 旨		
<p>目的： 重度精神疾患患者の多くは、アルコールやその他物質への依存症を併発していることが多く、ケアに障壁が残っている。本研究の目的は、地域精神保健医療チームがケアした物的使用障害を併発している重度精神疾患患者における物質使用への依存と治療の割合の記述とリスク因子を評価することである。</p> <p>方法： 2008年にメンタルヘルス・トラストで重度精神疾患と物質使用障害の重複診断を受けた全国42地域からの2,235名を対象に横断的な調査を行い、重度精神疾患と依存症ならびに精神保健医療チームの関わりについて検討した。</p> <p>結果： 重度精神疾患患者のうち、26%はアルコール依存を併存しており、21%はその他の何らかの物質に依存症を併発していた。依存症があることに関連している因子は、オピオイドの使用、肝臓疾患、刑事裁判がある、そして、居住地であった。また、患者のうち50%は、過去12ヶ月以内に専門家による治療が行われていた。治療を受けることに関連する因子は、肝臓疾患やコカイン、オピオイドの使用、刑事裁判であった。統合失調症と南中部に住む患者は治療を受ける機会が最も低かった。</p> <p>結論： 物質使用障害を併発している重度精神疾患患者の多くは、治療ニーズが満たされていないことが多い。物質乱用への対策、メンタルヘルスケアシステム、および相互のより効力をもつ物質使用障害の専門治療への紹介システムが必要である。</p>		